



2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月10日
上場取引所 東

上場会社名 小林製薬株式会社
コード番号 4967 URL <https://www.kobayashi.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 章浩
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CFOユニット長 (氏名) 中川 由美 TEL 06-6222-0142
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日
配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	36,485	9.0	5,028	△0.6	5,461	5.7	976	△72.9
2023年12月期第1四半期	33,467	2.5	5,061	4.5	5,168	1.3	3,608	3.9

（注）包括利益 2024年12月期第1四半期 4,383百万円（△9.0％） 2023年12月期第1四半期 4,815百万円（7.3％）

	1株当たり四半期純利益
	円 銭
2024年12月期第1四半期	13.13
2023年12月期第1四半期	47.43

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	261,253	204,966	78.3
2023年12月期	267,473	204,816	76.4

（参考）自己資本 2024年12月期第1四半期 204,442百万円 2023年12月期 204,370百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	43.00	-	58.00	101.00
2024年12月期	-	-	-	-	-
2024年12月期（予想）	-	44.00	-	59.00	103.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	-	-	-	-	-	-	-	-	-

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結通期業績予想につきましては、現段階で合理的な業績予想の算定を行うことが困難なことから未定とし、記載しておりません。今後、合理的な予測が可能となった時点で速やかにお知らせいたします。

詳細は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規：1社（社名）KOBAYASHI Pharmaceutical Manufacturing (Thailand) Co., Ltd.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期1Q	78,050,000株	2023年12月期	78,050,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期1Q	3,711,086株	2023年12月期	3,711,086株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期1Q	74,338,914株	2023年12月期1Q	76,068,428株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

当社は2024年5月10日（金）に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料につきましては、開催当日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結貸借対照表関係)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社が販売しております機能性表示食品「紅麹コレステヘルプ」を摂取された方において、腎疾患等が発生されましたことについて、数多くの皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、心より深くお詫び申し上げます。現在、原因究明に対して真摯に対応させていただいている最中ではございますが、再発防止に向けた徹底的な品質管理体制の構築を行い、信頼回復に全力をあげて取り組んでまいります。

当第1四半期連結累計期間における当社グループをとりまく経営環境は、新型コロナウイルス感染症の落ち着きに伴って多くの国で経済活動が再開し、国・地域を超えた移動も増加傾向になる中、原材料価格の高騰やエネルギーコスト上昇に伴う消費低迷の懸念や、地政学リスクの高まりなど、先行き不透明な状況が続きました。

その結果、売上高は36,485百万円（前年同期比9.0%増）、営業利益は5,028百万円（前年同期比0.6%減）、経常利益は5,461百万円（前年同期比5.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は976百万円（前年同期比72.9%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

国内事業

当事業では、洗いたての気持ちいい香りでお肌替え可能な芳香・消臭剤「消臭元SAVON」、繰り返すめまいに効く漢方薬「メイマック」、声が出にくい“声がれ”を声帯の炎症を鎮めながら改善する漢方薬「コエキュア」、鼻をひたして水流で毛穴汚れを洗う優しいデイリーケア製品「ケアナボン ひたし洗い液」など、昨年春に13品目、秋に17品目の新製品を発売し、売上に貢献しました。

また、訪日外国人数の増加に伴い、インバウンド需要も増加し、売上に貢献しました。

さらに、昨年下半年に広告費を増やしたことで、国内売上は順調に伸長しました。

その結果、売上高は27,010百万円（前年同期比3.3%増）、セグメント利益は3,849百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第1四半期連結累計期間では1,232百万円、当第1四半期連結累計期間では870百万円となっております。

（外部顧客への売上高の内訳）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2023年1月1日 至 2023年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）	増減	
	金額（百万円）	金額（百万円）	金額 （百万円）	増減率 （%）
ヘルスケア	14,036	15,519	1,483	10.6
日用品	8,151	8,595	444	5.4
カイロ	824	415	△408	△49.6
通販	1,913	1,608	△305	△16.0
合計	24,926	26,139	1,212	4.9

国際事業

当事業では、米国・中国・東南アジアを中心に、カイロや額用冷却シート「熱さまシート」、外用消炎鎮痛剤「アンメルツ」などを販売しており、広告や販売促進など積極的に投資することで、売上拡大に努めました。

米国では、サプリメント・一般医薬品を販売しているFocus社を2023年10月に買収し、それによる売上貢献がありました。また、為替変動の影響による売上の増加も寄与し、増収となりました。

中国では昨年、新型コロナウイルス感染症の罹患者数が増加したことで、発熱対策として「熱さまシート」の需要が高まっておりました。今年は、その反動での売上減が影響し、円安による為替変動の影響を除くと、減収となりました。

東南アジアでは、主力の「熱さまシート」と「アンメルツ」が好調に推移し、円安による為替変動の影響による売上の増加も寄与し、増収となりました。

その結果、売上高は10,628百万円（前年同期比19.8%増）、セグメント利益は1,061百万円（前年同期比21.5%減）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第1四半期連結累計期間では478百万円、当第1四半期連結累計期間では439百万円となっております。

（外部顧客への売上高の内訳）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2023年1月1日 至 2023年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）	増減	
	金額（百万円）	金額（百万円）	金額 （百万円）	増減率 （%）
米国	2,678	3,873	1,194	44.6
中国	2,760	2,802	42	1.5
東南アジア	2,241	2,705	463	20.7
その他	709	807	97	13.7
合計	8,391	10,188	1,797	21.4

その他

その他には、運送業、合成樹脂容器の製造販売、不動産管理、広告企画制作等を含んでおり、各社は独立採算で経営し、資材やサービス提供についてその納入価格の見直しを適宜行いました。

その結果、売上高は1,678百万円（前年同期比10.1%増）、セグメント利益は106百万円（前年同期比8.8%増）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第1四半期連結累計期間では1,374百万円、当第1四半期連結累計期間では1,520百万円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ6,220百万円減少し、261,253百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少（9,126百万円）、受取手形及び売掛金の減少（15,376百万円）、商品及び製品の増加（4,431百万円）、建物及び構築物の増加（5,764百万円）、建設仮勘定の増加（6,531百万円）等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ6,370百万円減少し、56,286百万円となりました。主な要因は、未払金の減少（7,305百万円）等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ149百万円増加し、204,966百万円となり、自己資本比率は78.3%となりました。主な要因は、利益剰余金の減少（3,335百万円）、その他有価証券評価差額金の増加（249百万円）、為替換算調整勘定の増加（3,132百万円）等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在、当社グループ及び当社グループの取引先様において、お客様の健康被害が拡大することを防ぐため、紅麹関連製品の回収を進めております。

しかし、当該事象が当社グループの業績に与える影響度を見通せず、業績予想の合理的な見積りが困難であるため、2024年12月期の通期業績予想は未定とさせていただきます。詳細については、本日（2024年5月10日）公表いたしました「特別損失の計上及び通期連結業績予想の取り下げに関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	71,536	62,410
受取手形及び売掛金	53,028	37,651
有価証券	8,300	8,300
商品及び製品	13,308	17,740
仕掛品	1,767	1,917
原材料及び貯蔵品	7,006	7,300
その他	3,427	3,127
貸倒引当金	△44	△25
流動資産合計	158,331	138,421
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,611	16,375
機械装置及び運搬具（純額）	5,152	4,938
工具、器具及び備品（純額）	1,501	2,129
土地	4,900	4,918
リース資産（純額）	964	931
建設仮勘定	24,534	31,066
有形固定資産合計	47,665	60,359
無形固定資産		
のれん	9,655	9,955
商標権	8,792	9,007
ソフトウェア	2,664	2,488
その他	501	519
無形固定資産合計	21,614	21,970
投資その他の資産		
投資有価証券	32,124	32,486
長期貸付金	1,132	1,190
退職給付に係る資産	292	321
繰延税金資産	2,647	2,847
投資不動産（純額）	2,678	2,671
その他	2,163	2,214
貸倒引当金	△1,176	△1,230
投資その他の資産合計	39,862	40,501
固定資産合計	109,142	122,831
資産合計	267,473	261,253

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,745	9,481
電子記録債務	8,560	7,261
未払金	25,037	17,731
リース債務	379	375
未払法人税等	4,059	2,439
未払消費税等	788	644
賞与引当金	2,705	3,902
製品回収関連損失引当金	—	3,197
その他	5,836	5,918
流動負債合計	56,111	50,952
固定負債		
リース債務	608	577
繰延税金負債	2,594	1,379
退職給付に係る負債	939	972
その他	2,403	2,403
固定負債合計	6,545	5,333
負債合計	62,656	56,286
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,450	3,450
資本剰余金	522	522
利益剰余金	205,681	202,346
自己株式	△24,766	△24,766
株主資本合計	184,887	181,551
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,819	13,069
為替換算調整勘定	6,403	9,536
退職給付に係る調整累計額	259	284
その他の包括利益累計額合計	19,483	22,891
新株予約権	446	524
純資産合計	204,816	204,966
負債純資産合計	267,473	261,253

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	33,467	36,485
売上原価	14,139	15,534
売上総利益	19,327	20,951
販売費及び一般管理費	14,266	15,922
営業利益	5,061	5,028
営業外収益		
受取利息	56	69
受取配当金	3	1
不動産賃貸料	73	73
為替差益	—	226
その他	127	153
営業外収益合計	261	525
営業外費用		
支払利息	4	4
不動産賃貸原価	25	25
為替差損	58	—
貸倒引当金繰入額	49	53
その他	17	9
営業外費用合計	154	93
経常利益	5,168	5,461
特別利益		
固定資産売却益	2	1
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	2	1
特別損失		
固定資産除売却損	4	8
製品回収関連損失	—	3,648
その他	68	218
特別損失合計	72	3,876
税金等調整前四半期純利益	5,097	1,586
法人税、住民税及び事業税	2,034	2,067
法人税等調整額	△544	△1,457
法人税等合計	1,489	610
四半期純利益	3,608	976
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,608	976

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	3,608	976
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	662	249
為替換算調整勘定	471	3,132
退職給付に係る調整額	72	25
その他の包括利益合計	1,206	3,407
四半期包括利益	4,815	4,383
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,814	4,383
非支配株主に係る四半期包括利益	0	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

(偶発債務)

当社が販売する機能性表示食品「紅麴コレステヘルプ」を摂取された複数のお客様が腎疾患を発症されているとの報告を受け、本製品及びそれに使用している紅麴原料（自社製造）の成分分析を行った結果、一部の紅麴原料に当社の想定しない成分が含まれていることが判明しました。現在、当社グループ及び当社グループの取引先様において、お客様の健康被害が拡大することを防ぐため、紅麴関連製品の回収を進めております。

また、現時点において、原因物質や作用機序、当社製品と腎臓関連疾患との関連性等は明らかになっておりませんが、2024年4月25日、原因特定までの暫定的な対応として、当社紅麴関連製品の摂取と症状との間に相応の関連性があると疑われるお客様に対して、医療費等の実費のお支払いを開始させていただく旨を発表しております。

この状況を踏まえ、当社は当該事象に関連して、主に（1）当社製品の回収、（2）企業様向け紅麴原料の回収、（3）医療費等のお支払いが発生することを想定しており、現時点で合理的に見積り可能な範囲内で、製品回収関連損失引当金として計上しております。

しかし、現時点で合理的な見積りに及ばない範囲については、現在、情報を収集している段階であります。そのため、当社がその総額を合理的に見積ることは困難であり、追加的に費用が発生する可能性があります。

(1) 当社製品の回収

当社は、販売代理店を通じて小売店に販売しており、小売店での店舗やECサイトにおいて製品をお客様に販売するか、通信販売により直接お客様に販売しております。対象の紅麴製品の販売代理店、小売店及びお客様からの回収予測数量について、これまでの販売データ及び現在までの回収実績等を踏まえて算定し、これらの回収予測数量に基づいた回収費用を見積り計上しております。これらに加えて返品コールセンターのオペレーション費用や運送料、対象製品を回収するにあたって必要な広告費用等の回収費用を現時点で合理的に見積り可能な範囲内で、見積り計上しております。

(2) 企業様向け紅麴原料の回収

当社が販売している紅麴原料は当社の直接的な取引企業52社を通して国内外の取引先様に販売されている状況です。これら当社グループの取引先様において、関連製品の回収が実施されており、製品回収に係る情報の収集をお願いしております。当社は紅麴原料を使用した製品（流通在庫等を含む）の回収等の措置にご協力いただけるよう要請しており、取引先様からの情報提供等に基づき合理的に発生が見込まれる製品回収費用を現時点で合理的に見積り可能な範囲内で、見積り計上しております。

(3) 医療費等のお支払い

2024年4月25日に発表した内容に基づき、医療費等のお支払いについて、現時点で合理的に見積り可能な範囲内で、見積り計上しております。

(四半期連結損益計算書関係)

当第1四半期連結累計期間において、紅麴関連製品の回収及びその関連費用等について、製品回収関連損失3,648百万円を特別損失として計上しております。製品回収関連損失の主な内訳は、当社製品の回収、企業様向け紅麴原料の回収、医療費等のお支払いとなります。

また、紅麴関連製品に関する製造用設備について、帳簿価額を回収可能価額まで減額しており、当該減損損失213百万円は特別損失のその他として計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (注) 3
	国内 事業	国際 事業	計				
売上高							
日本	24,926	—	24,926	149	25,075	—	25,075
米国	—	2,678	2,678	—	2,678	—	2,678
中国	—	2,760	2,760	—	2,760	—	2,760
東南アジア	—	2,241	2,241	—	2,241	—	2,241
その他	—	709	709	—	709	—	709
顧客との契約から生じる 収益	24,926	8,391	33,317	149	33,467	—	33,467
外部顧客への売上高	24,926	8,391	33,317	149	33,467	—	33,467
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,232	478	1,711	1,374	3,085	△3,085	—
計	26,158	8,869	35,028	1,524	36,553	△3,085	33,467
セグメント利益	3,605	1,351	4,957	97	5,054	6	5,061

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額6百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (注) 3
	国内 事業	国際 事業	計				
売上高							
日本	26,139	—	26,139	157	26,296	—	26,296
米国	—	3,873	3,873	—	3,873	—	3,873
中国	—	2,802	2,802	—	2,802	—	2,802
東南アジア	—	2,705	2,705	—	2,705	—	2,705
その他	—	807	807	—	807	—	807
顧客との契約から生じる 収益	26,139	10,188	36,327	157	36,485	—	36,485
外部顧客への売上高	26,139	10,188	36,327	157	36,485	—	36,485
セグメント間の内部売上 高又は振替高	870	439	1,310	1,520	2,830	△2,830	—
計	27,010	10,628	37,638	1,678	39,316	△2,830	36,485
セグメント利益	3,849	1,061	4,910	106	5,017	11	5,028

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額11百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。